

岩木川下流部の環境改善のために

～地域伝統の復活 火入れ～



2021.4.22 岩木川 中泊町田茂木若宮地区



安全確認後、ヨシ原へ火入れ



火入れ終了後の様子

4月22日(木) 岩木川下流の地域に伝わってきたヨシの火入れ約20haを中泊町田茂木若宮地区で行いました。

岩木川下流部には広大なヨシ原(約400ha)があり貴重な動植物の生息・繁殖地となっていますが、地域が伝統的に実施してきたヨシの刈り取りや火入れが行われなくなり、ヤナギなどの侵入により環境改善と保持が課題となっていました。

そこで、平成30年の岩木川の改修100周年を契機に設立された「岩木川下流ヨシ原の火入れ検討会」では、「ヨシ原の火入れ」を実証実験として行っており、今回で3回目の火入れをすることが出来ました。

今後も、火入れを継続しつつ、岩木川下流部の環境改善に努めていきます。

なお、この火入れは、地域の伝統行事(春の風物詩)の復活としても期待されております。

関係者の皆様及び周辺にお住まいの皆様、大変ありがとうございました。